

## 「特別支援学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践紹介」

県総合教育センター特別支援教育部

### 1 2020年に向けて千葉県の取組

本県では、2020年の「東京オリンピック・パラリンピック」（以下、「オリパラ」）に向けて、平成29年4月「千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育の取組方針」（以下、「取組方針」）を策定した。「取組方針」では、オリパラ教育で目指す児童生徒の姿を「おもてなし」「心のバリアフリー」「スポーツ」「グローバル」の4つのプロジェクトに整理し、各プロジェクトのねらいや具体的な取組例等を示している。

### 2 オリパラ教育推進のために

「取組方針」に基づき、29年度よりオリパラ教育推進校30校を指定し、同2月にはオリパラを活用した実践成果報告会を開催、実践事例集をまとめた。30年度には、新たに指定された学校を加え65校がオリパラを活用した教育を県内の他の学校に広めるため、先行的な実践を行っている。

### 3 特別支援学校3校の取組

県内の特別支援学校では、29年度に、県立桜が丘特別支援学校、県立矢切特別支援学校が指定を受け、30年度から県立東金特別支援学校が加わり、現在3校が先行的に取り組んでいる。今回は、上記3校の現在の取組について紹介していく。

#### (1) 県立桜が丘特別支援学校

ウィルチェアラグビーの選手を講師に招いて、児童生徒と一緒に実際に実技体験を行い交流している。さらに近隣の小学校を訪問しボツ



ウィルチェアラグビーの様子

ツチャを通して交流を行う予定である。

#### (2) 県立矢切特別支援学校

地域の方々をはじめ近隣の小学生や高齢者施設の方々など多くの方が参加する「やきりdeボッチャ」大会を開催し、ボッチャを知ってもらう機会を作っている。また、体操や車いすバスケットのトップアスリートを呼んだり、外国料理を取り入れたオリパラ給食で、食育に



「やきりdeボッチャ」の様子

#### (3) 県立東金特別支援学校

地域に障害者スポーツを広めることを目的に「『オリ・パラ』サマーセッションin東金」を開催。ゴールボールとボッチャの体験、メダリストの講演を行った。また、聖火リレーの学習として運動会に向け、全校による炬火リレーを行った。児童生徒による「『オリ・パラ』推進隊」を結成。今後、地域の学校を訪問し、イベントを通じて障害者スポーツの普及に努めていく。



ゴールボール体験の様子

### 4 2020年に向けて

2020年に開催される「東京オリンピック・パラリンピック」を契機とした教育をさらに推進し、次世代を担う子供たちが国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティアの精神、障害者への理解を身に付け、大会後も無形のレガシーとして引き継いでいくために、今後もオリパラ教育の推進に取り組んでいきたい。（出典：県教育委員会 Web サイト）